究極の新月／マレーシア金環日蝕

村田正史（あゆち天文同好会）

1998年８月22日午前８時20分（シンガポール時間）マレーシア、ジョホール州メルシンで金環日蝕を観望しました。当日の未明は曇天で雨こそ降らないものの稲光が私たちを迎えてくれました。観測場所も全く決めていませんでしたからはたして金環日蝕が見られるか不安がよぎっていたのが正直なところです。

私が始めて金環日蝕を観測したのは1987年９月23日の沖縄金環蝕でした。それ以来２回目の金環日蝕です。今回は全く予定していない遠征でした。１年ほど前から仕事でシンガポールに駐在している友人との電話がきっかけでした。

私 「ねぇ、８月22日シンガポールで日蝕が見られるよ。シンガポールじゃ部分蝕だけどマレーシアまでいけば金環蝕になるよ。」

友人「へー、本当？どこまで行けば金環日蝕が見られるの？」

私 「えーとね。〇〇ツアーはメルシンで観測するとあるよ。」

友人「メルシンならドライブで行ったことがある。22日は土曜日で休みだ。行ける。せっせさん（ニフティでのハンドル名）ならすぐに飛んで来るのでは？宿は提供するから格安航空券で来いよ。」

私 「・・・・・

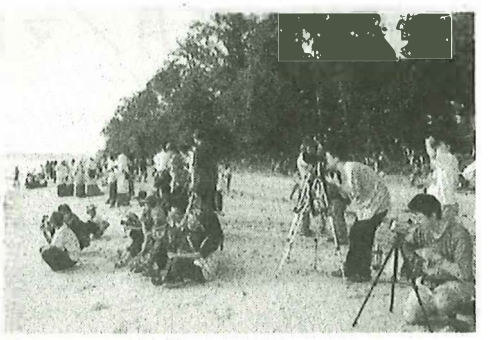
といういきさつで出かけて行く事になりました。

シンガポール８月22日午前０時30分、友人とその同僚家族で車３台に分乗し一路マレーシアへと向かいました。意外と通関手続きは簡単でした。帰りにシンガポールへ入国するときも就労許可証のグリーンカードを持ている人はカードとパスポートを見せるだけの簡単なものです。私は旅行者ですから入国カードを書きました。深夜の真っ暗なルート３をひた走り３時過ぎにメルシンのフェリー波止場に着くと我々はトイレを探しました。その時客のいない大型観光バスが入って来て停車し２人の男女を降ろすと走り去りました。この降り立った男性が私たちに幸運をもたらしてくれたのです。

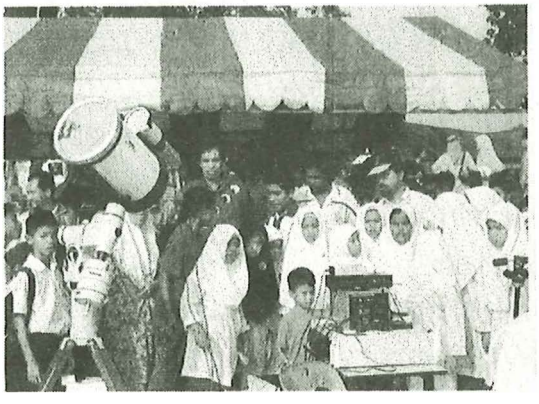
彼が現地の観測ベースを教えてくれたのです。話がうまく通じないのでどの組織が設置したのか判然しなかったのですが、2000人が集まり望遠鏡とＣＣＤで撮影し中継するような事を言っていたようです。とにかく現地へ案内してもらいました。良い場所ならそれでよし。だめだったら適当なところでもう１度見つけよう、という気楽な気分でした。現地はちょうど青少年野外活動センターみたいなところで、南シナ海に面した海岸にありました。前日には日蝕のセミナーもあったようです。海岸に出ると観測しやすいように整地がしてあり機材の設置は容易で私たちには好都合です。警察のパトロールカーも来ていたので安心して観測が出来ます。まさに案内してくださった男性は神様のような存在でした。しかし、現地に着いてから彼は消えてしまい２度と会

う事ありませんでした。

午前６時に観測場所を確保し準備に入りました。しかし空は一面の雲。日の出の頃には雲が切れ出しましたがやはり東の空には小型の積乱雲が浮かんでいます。太陽は雲の向こうで見られません。７時20分、やっと雲の間からのぞき見えた太陽はすでに欠けていました。欠けた太陽と雲の格闘は延々と続きます。この頃になると続々と人々が集まってきました。スクールバスで先生に引率された小・中学生や高校生の姿もあります。マイクを通じ案内やコーラン（？）・音楽も流れていました。たいへんな喧燥です。でもみんなが集中しているのは雲の中に見え隠れする太陽です。

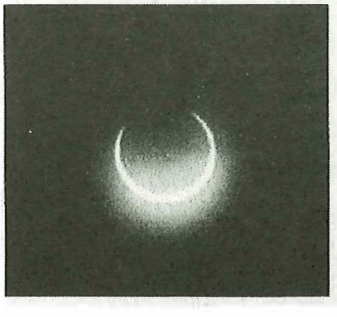


観測地メルシンの海岸

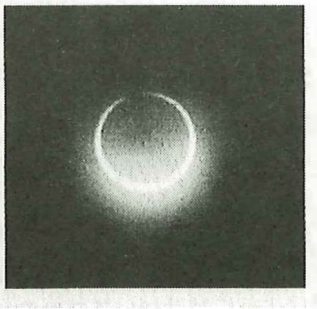


望遠鏡とＣＣＤの画像を見る子供たち

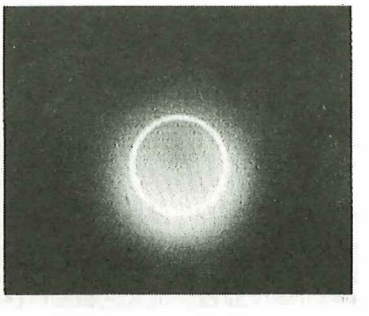
太陽は雲に出たり隠れたりを繰り返していました。カメラのファインダーから消えてしまい見失ったと勘違いすることもたびたびです。それでもだんだんと高度を上げた太陽も８時10分過ぎになると全体像を見せてくれるようになり、薄ぺらな三日月のような形になっていました。ここから第２接触までが金環日蝕の一番の醍醐味です。三日月形の両側のとんがった部分が触手のように円弧を描き細く伸びていきます。そして最後に二つの触手がつながりリングを成します。二つの触手が伸びる姿を双眼鏡や望遠鏡で見ると（当然減光フィルターをかけています）月の周縁の様子が良く判ります。岩の隙間に水が染み込むように見えるからです。この自然の造形が素晴らしいのです。リングになった瞬間大きな歓声があがります。皆既日蝕のダイヤモンドリングの時のように。もっともリングが切れる第３接触の時はあがりませんが。



金環直前の太陽。
（触手が円弧を描き伸びている。）



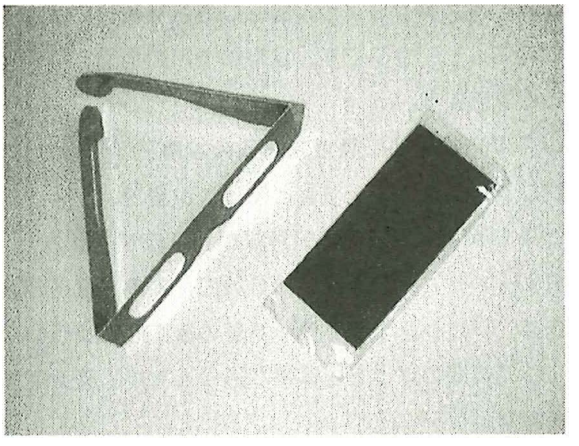
第２接触



金環日蝕。
（綺麗なリングが見られた。）

我々はとても幸運でした。第３接触を過ぎるまで太陽の姿が見られたからです。当日マラッカは雨、シンガポール（部分蝕）も雨と曇りで見られなかったと後で聞きました。

一緒に観測した仲間



日蝕グラス。右がメルシン、左はシンガポールサイエンスセンターで手に入れたもの。

村田正史　murata. masashi@nifty. ne. jp
せっせハウス（近日開設予定）　http://member. nifty. ne. jp/sesse/